

兵庫大学大学院看護学研究科履修規程

〔 令和 2 年 2 月 26 日 〕 〔 令和 2 年 2 月 26 日 制定 〕
〔 学 長 決 定 〕 〔 兵 大 程 第 284 号 〕

(趣旨)

第 1 条 この規程は、兵庫大学大学院学則に基づき、看護学研究科（以下、「本研究科」という。）の授業科目、履修方法、試験、成績評価、修了要件等について必要な事項を定めるものとする。

(授業科目)

第 2 条 本研究科の授業科目および単位数は、博士前期課程は別表 1、博士後期課程は別表 2 のとおりとする。この場合、各授業科目の単位の基準は、講義科目については 15 時間の授業をもって 1 単位とする。演習科目については 30 時間をもって 1 単位とする。

(履修登録)

第 3 条 学生は履修しようとする授業科目について毎学期指定期日までに履修登録届を教務課に提出しなければならない。

2 学生は、看護学部の授業科目を受講しようとするときは、研究科長を経て、看護学部教務委員長及び当該授業担当教員の許可を得なければならない。

(課程修了の要件)

第 4 条 課程修了の要件は、次のとおりとする。

(1) 博士前期課程は 2 年以上を在学し、別表 3 に定めるところにより 32 単位以上を修得し、かつ修士論文の審査及び試験に合格することとする。

(2) 博士後期課程は 3 年以上を在学し、別表 4 に定めるところにより 16 単位以上を修得し、かつ博士論文の審査及び試験に合格することとする。

2 長期履修制度を利用する場合については別に定める。

(研究指導教員)

第 5 条 研究科委員会は、各学生の研究指導教員ならびに副指導教員を定める。

(単位修得の要件)

第 6 条 各授業科目の単位修得認定は、その授業を修了した学期末に行う。

2 前項の認定は、筆記試験、口頭試験、又は研究報告等により行う。

(成績評価)

第 7 条 成績の判定は点数で、各授業科目の成績評価は、秀、優、良、可、不可の評価をもってする。

2 成績評価は次の基準によるものとし、「可」以上をもって合格とする。

(1) 秀 90 点～100 点

(2) 優 80 点～89 点

(3) 良 70 点～79 点

(4) 可 60 点～69 点

(5) 不可 60 点未満

(G P A)

第 8 条 各学期毎に、G P A を表示し、以下の計算式によって算出する。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{ の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{ の総和}}$$

(小数点第 3 位以下切り捨て)

2 成績評価に対するグレードポイントは、次のとおりとする。

成績評価	グレードポイント
秀	4.0
優	3.0
良	2.0
可	1.0
不可	0.0

(学位の授与)

第 9 条 修士の学位は、所定の単位を修得し、修士論文の審査及び試験に合格した者に対して、別に定めるところにより、学長がこれを授与する。

2 博士の学位は、博士論文の審査及び試験に合格した者に対して、別に定めるところにより、学長がこれを授与する。

(規程の改廃)

第 10 条 この規程を改廃しようとするときは、研究科委員会に諮り、大学運営会議の議を経て、学長が決定する。

(雑則)

第 11 条 この規程に定めるもののほか、この規程実施に必要な事項は研究科長が定める。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

別表1 (第2条関係) 看護学研究科看護学専攻博士前期課程

授業科目の 区分		授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
共通科目		看護学研究方法特論	2		6 単位
		疫学・統計学特論	2		
		看護倫理学特論		2	
		看護理論特論		2	
		看護教育学特論		2	
		臨床死生学特論	2		
		エンドオブライフケア特論		2	
		保健医療福祉学特論		2	
専門科目	基盤看護学	看護教育管理学特論		2	32 単位以上 自身の専攻する 特論（2 単位）、 特論演習（2 単位）を履修し、 かつ、修士論文を提出し、審査 及び最終試験に合格すること
		看護教育管理学特論演習		2	
		長寿科学看護特論		2	
		長寿科学看護特論演習		2	
	看護学 エンドオブ ライフケア	エンドオブライフケア看護学特論		2	
		エンドオブライフケア看護学特論演習		2	
	生涯発達看護学	成人・老年看護学特論		2	
		成人・老年看護学特論演習		2	
		母性・小児看護学特論		2	
		母性・小児看護学特論演習		2	
	広域看護学	精神看護学特論		2	
		精神看護学特論演習		2	
		在宅看護学特論		2	
		在宅看護学特論演習		2	
		地域看護学特論		2	
		地域看護学特論演習		2	
研究科目		特別研究 M	8		

別表2 (第2条関係) 看護学研究科看護学専攻博士後期課程

授業科目の 区分		授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
共通科目		看護学研究方法特別講義	2		4 単位
		応用統計学特別講義	2		
		保健医療福祉政策特別講義		2	
専門科目	エンドオブ ライフケア 看護学	エンドオブライフケア 看護学特別講義		2	16 単位以上 自身の専攻する 特別講義（2 単 位）、特別講義演 習（2 単位）を 履修し、かつ、 博士論文を提出 し、審査及び最 終試験に合格す ること
		エンドオブライフケア 看護学特別講義演習		2	
	生涯発達 看護学	生涯発達看護学特別講義		2	
		生涯発達看護学特別講義演習		2	
	広域看護学	在宅看護学特別講義		2	
		在宅看護学特別講義演習		2	
		地域看護学特別講義		2	
		地域看護学特別講義演習		2	
研究科目		特別研究 D	8		

別表3 (第4条関係)

科目区分	必要単位数	うち必修科目数 (単位)
共通科目	24 単位以上	3 科目 (6 単位)
専門科目		自身が専攻する特論 1 科目 (2 単位)、特論演習 1 科目 (2 単位)
特別研究	8 単位	1 科目 (8 単位)
合計	32 単位以上	6 科目 (18 単位)

別表4 (第4条関係)

科目区分	必要単位数	うち必修科目数 (単位)
共通科目	8 単位以上	2 科目 (4 単位)
専門科目		自身が専攻する特別講義 1 科目 (2 単位)、特別講義演習 1 科目 (2 単位)
特別研究	8 単位	1 科目 (8 単位)
合計	16 単位以上	6 科目 (18 単位)